

磐田市まち・ひと・しごと 創生総合戦略 進捗状況

平成 28 年 9 月

～総合戦略について～

平成 27 年 10 月に策定しました「磐田市人口ビジョン」において、2060 年（平成 72 年）の本市の人口を 13 万 6 千人程度とする中長期展望を示しました。

また、地域の実情に応じた、今後 5 か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「磐田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、5 つの基本目標を軸に、本戦略に位置付けた取組みを進めています。

～平成 27 年度の取組み評価～

「磐田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、5 つの数値目標に加え、23 の重要業績評価指標（K P I）を設定し、各施策の効果を客観的に検証できるようにしています。

平成 27 年度の実績値を見てみると、全体的には、概ね目標値（平成 31 年度）に向けて順調に推移しており、各施策に対する事業を計画通りに、着実に遂行できています。

産業・雇用の分野では、商談会やテスト販売による販路開拓の実施等で、ビジネスマッチングの機会を創出することができ、また、創業支援事業計画について国の認定を取得し、創業支援体制の構築を図ることができました。

移住・定住の分野では、地方創生先行型交付金を活用した U I J ターン就職促進事業を実施したことで、進学などの理由により市外に転出した若者が、居住地として市内に帰ってくるきっかけづくりとなり、それにより市内企業への就職を促進することができました。

子育ての分野では、民間保育園の新設等による保育枠定員の増加により、待機児童ゼロの継続が達成できました。しかし、依然として出生数や婚姻数は減少傾向にあることから、引き続き、結婚、妊娠から育児までの継続した支援を図っていき、合計特殊出生率が上昇するための施策を推進していきます。

教育の分野では、放課後子供教室の増設を図り、また、放課後児童クラブの増設により、待機児童数ゼロを達成することができ、学校に対する満足度も目標値に近い実績を得ることができました。

地域づくりの分野では、海岸堤防の整備や交流センターの整備、自治会防犯灯の L E D 化等、安全で安心なまちづくりを着実に推進することで、磐田市に住み続けたいと思ってもらえることにつながりました。

今後も、変化する社会経済情勢や市民ニーズへの確かつ柔軟に、スピード感を持って対応ができるように、本戦略に位置付けた取組みを着実に推進していきます。

基本目標1：みんなが活躍できるまちづくり（産業・雇用）

【平成27年度の主な取り組み】

- 産業展示会等出展のための補助金による支援の実施（33社）
- 下野部工業団地現地見学会の開催（22社、参加者38人）
- がんばる企業応援団による市内企業のニーズや実態についての調査、把握、情報提供の実施（企業数177社、職員数116人、2回/年）
- 創業支援事業の実施（ワンストップ窓口相談23件、ネットワーク会議3回開催）
- 女性起業家育成支援講座の開催（参加者17人、6回開催、2名起業）
- 新東名磐田スマートインターチェンジの本体工事着手
- いわた農業経営塾の実施（3社、参加者163人、公開講座7回開催）
- 磐田スマートアグリカルチャー事業に着手（第1期）
- 食の拠点施設「渚の交流館」の整備（H28.5.22オープン）
- 農商工業者のビジネスマッチング提案会の開催（8社20件のマッチング）
- 小中学校への就労・起業啓発事業の実施（8校、生徒数1,015人、派遣講師25人）
- 障害者の一般就労への移行支援（移行者数22人）

【数値目標】

項目	目標値（H31）	実績値（H27）
市独自調査による新規雇用者数	500人 （5年間累計）	356人/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目	目標値（H31）	実績値（H27）
産業展示会等出展支援事業による商談成立件数	100件 （5年間累計）	12件/年
中小企業の製造品出荷額等	4,900億円以上	5,019億円 （H26）
新たな企業立地件数（1,000㎡以上）※太陽光発電事業を除く	20件 （5年間累計）	2件/年
創業支援事業計画に基づく新たな創業・起業件数	50件/年	58件/年
異業種からの新規農業参入企業数	13件（累計）	9件（累計）
農業委員会調査による新規就農者数（45歳未満）	20人（累計）	11人（累計）
女性起業家育成講座受講生による創業・起業件数	10件 （5年間累計）	2件/年
障害者の福祉施設から一般就労への移行人数	52人 （5年間累計）	22人/年

【平成 28 年度の主な取り組み】

- ◇海外販路の開拓については、長期的視点に立った事業継続が必要であるため、姉妹都市のマウンテンビュー市を中心に、ビジネスマッチング等の可能性を調査し、市内事業者の海外展開を支援していく。
- ◇新東名磐田インターチェンジの整備推進を引き続き実施し、企業誘致の推進を図る。
- ◇元気な農林水産業の育成を図るため、新しい技術を活用した次世代型農水産業が新しい産業の柱となるよう、立地促進補助制度を創設（H28.4～）し、企業の農業参入への支援を行う。
- ◇10年後の農業のあり方を、担い手農業者や地権者と検討するためのアンケート調査や集計・図面作成等を実施し、担い手農業者への農地集積支援を行う。
- ◇地域の資源である海を積極的に活用し、食とレジャーを中心に海辺の魅力を発信することにより、沿岸地域から産業振興と活性化を図るため、「渚の交流館」を開設する。（H28.5～）
- ◇創業・起業のしやすい環境を整備するため、女性起業家育成講座の開催や、専門家による相談窓口を設置し、起業・創業への支援を行う。
- ◇障害者の自立支援のため、関係機関と連携して障害者雇用への理解を深める啓発活動を強化し、障害者の就労促進を図る。
- ◇県内では初めてとなる児童発達支援と就労支援一体型施設の整備を支援することで、児童発達支援ネットワークの構築を図っていく。

基本目標2：移住・定住したくなるまちづくり（移住・定住）

【平成27年度の主な取り組み】

- 移住定住PRサイトの制作（市HPに「いいわたし@磐田市」掲載）
- 静岡県移住相談センター（東京）でのセミナー開催（1回）
- U I Jターン就職促進事業の実施（市内企業への就職者数27人）
 - ①合同企業ガイダンス（9回開催、参加者234人）
 - ②各種セミナー（7回開催、参加者135人、31社）
 - ③企業見学会（2回開催、参加者225人）
 - ④インターンシップ受入（3大学、29人）
- 磐田駅北口広場整備の完成（東側ロータリー、多目的広場）
- JR新駅建設に向けた設計業務の実施
- 「しっぺい」の活用（幼稚園・保育園の訪問、応援カンパニー149社）
- 東大久保運動公園テニスコートの整備
- ふるさと納税による市のPR（寄附件数16,547件、寄附金額973,284,641円）
- 食の拠点施設「渚の交流館」の整備（H28.5.22オープン）【再掲】
- 磐田まちめぐりゼミナールの開催（115件、99店舗、参加者1,479人）
- みんなで軽トラ市 いわた駅前楽市（4回開催、来場者数41,000人）
- みんなで軽トラ市 とよおか夜店市（2回開催、来場者数7,000人）

【数値目標】

項目	目標値（H31）	実績値（H27）
転入者	100人転入 （5年間累計）	-24人転出 （H27.4～H28.3）

【重要業績評価指標（KPI）】

項目	目標値（H31）	実績値（H27）
U I Jターン就職促進事業による市内企業への就職者数	150人（累計）	27人/年
地域ブランド調査魅力度全国ランキング	350位以内	398位
観光交流客数	385万人 （改訂）	357万人

【平成 28 年度の主な取り組み】

- ◇U I J ターン就職の促進のため、いわた産業振興フェアや新たに中京圏在住の学生を対象にした名古屋での魅力発見フェアを開催する。
- ◇新たな定住促進と空き家の有効活用を図るため、空き家リフォーム費用等に対する補助金を創設（H28.4～）し、転入者の増加につなげる。
- ◇公共交通機関の充実や利便性の向上、地域の活性化等を図るために設置するJR新駅の工事を推進していく。
- ◇中学生のスポーツ活動への機会の充実を図るため、学校部活動の枠を越えた「磐田スポーツ部活」を設立する。（H28.5～）
- ◇市民がスポーツを楽しむ環境づくりを進めるため、新たな卓球場・アーチェリー場を整備する。
- ◇ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックを契機とした、市民へのスポーツに対する関心と機運を高めるための応援事業を実施し、スポーツの推進を図る。
- ◇市民が文化・芸術に触れ合う拠点として、新たな市民文化会館の建設に向け、基本計画を策定する。
- ◇軽トラ市実行委員会の組織やその活動の拡大を図るため、新たな補助金を創設し、支援を図る。
- ◇若手商業者を中心に、市内全域の商業者が新たな組織づくりや育成活動を推進するための補助金を創設し、支援を図る。
- ◇地域の資源である海を積極的に活用し、食とレジャーを中心に海辺の魅力を発信することにより、沿岸地域から産業振興と活性化を図るため、「渚の交流館」を開設する。（H28.5～）【再掲】

基本目標3：若い世代が家族を増やしたくなるまちづくり（子育て）

【平成27年度の主な取り組み】

- 民間保育園の新設等による保育枠定員の増加（定員375人増）
- 市内初の幼保連携型認定こども園の開設（福田こども園）
- 公立全幼稚園にエアコン設置
- 公立全幼稚園・保育園にミストシャワー設置
- 民間保育園の施設整備支援の実施（3園）
- ファミリーサポート事業の実施（会員登録者933人、援助回数3,541回）
- 一時預かり事業の実施（保育園利用者数5,040人、幼稚園利用者数36,367人、子育て支援センター利用者数508人）
- 磐田めぐりあい事業公営婚活の実施（4回開催、参加者男性68人、女性58人）
- 民間団体が行う婚活事業への補助金による支援（4件、参加者男性146人、女性137人）
- 不妊治療に対する助成（特定不妊治療275件、一般不妊治療77件、男性不妊治療1件）
- 子育て支援センター利用の推進及び相談対応（利用者数106,144人）
- 子育て相談員の派遣による育児相談（申請者数138人、派遣回数1,279回）
- 磐田市発達支援センターの運営
- こども憲章の普及・啓発（カレンダー、チラシ等）

【数値目標】

項目	目標値（H31）	実績値（H27）
合計特殊出生率	1.60	1.50 (H26)

【重要業績評価指標（KPI）】

項目	目標値（H31）	実績値（H27）
待機児童数ゼロの継続	ゼロ (H31.4.1現在)	ゼロ (H28.4.1現在)
父母いずれか若しくは双方の育児休業取得率	80.0%	※H28年度より調査実施
これからも磐田市で子育てをしたいと思う親の割合	80.0%	※H28年度より調査実施
婚姻数	900件/年	847件/年 (H26)

【平成 28 年度の主な取り組み】

- ◇合計特殊出生率の上昇を図るには、妊娠から育児までの継続した支援が必要であるため、磐田市在住の妊婦の里帰り出産に伴い、生まれた子が県外で受けた予防接種に対する補助金を新たに創設（H28.4～）し、安心して子どもを産み育てる環境を整備していく。
- ◇子育て相談体制の充実を図るため、福田こども園内に、市内で 10 カ所目となる子育て支援センターを開設する。（H28.4～）
- ◇親子が楽しみながら気軽に相談できる子育て支援と図書館機能を兼ね備えた（仮称）子ども図書館の設置に向けた基本構想を策定する。
- ◇子どもの教育・保育環境の充実を図るため、福田こども園、二之宮保育園、豊岡南幼稚園の園庭の芝生化を図る。
- ◇定員 300 名程度となる磐田北幼稚園園舎の再築工事（H30.3 完成予定）を着手し、また、磐田中部幼稚園の再築工事に向けた基本構想を策定し、保育環境の整備を図る。
- ◇子どもたちの安心・安全な生活を確保するため、公立幼稚園・保育園の非構造部分の点検調査を行い、天井等の落下防止対策を実施する。
- ◇県内では初めてとなる児童発達支援と就労支援一体型施設の整備を支援することで、児童発達支援ネットワークの構築を図っていく。【再掲】
- ◇働く男女が家事、育児などの家庭生活と仕事を両立することができるよう、家庭の育児力向上を図るため、イクメン応援講座やプレパパ・ママ応援講座などを開催する。
- ◇子どもたちがふるさとを知り、愛着を深めるきっかけづくりとして、絵本や紙芝居を作成し、幼稚園・保育園、交流センター等に配布する。（平成 27 年度ヤング草莽塾提案事業）

基本目標4：子どもたちが健やかに成長するまちづくり（教育）

【平成27年度の主な取り組み】

- ALTの派遣による英語教育の推進（全小・中学校、16 幼稚園）
- ふるさと先生の配置（7人）による35人学級編制の実施
- 教育支援員の配置（84人）による特別に支援を要する児童生徒への対応
- 放課後子供教室の拡大（富士見小・南小・長野小の新たな開設、計10教室）
- 放課後児童クラブの増設により、待機児童数ゼロを達成（7月に2クラブ、新たに4クラブ増設）
- こども憲章の普及・啓発（カレンダー、チラシ等）【再掲】
- 中学生海外派遣事業の実施（台湾、参加者10人→12人に増員）
- ヤング草莽塾の開催（市内4高等学校、7グループ、参加者51人）
- 高校生を対象に「いわたファンクラブ」会員が、経験と知識に基づいた授業を行う「高校生と大人の階段」事業の実施（4回開催、参加数147人）
- 静岡産業大学冠講座へ参加（後期毎週火曜日、38名履修）

【数値目標】

項目	目標値（H31）	実績値（H27）
学校に対する満足度（児童生徒・保護者）	90.0%	87.2%

【重要業績評価指標（KPI）】

項目	目標値（H31）	実績値（H27）
英語への興味・関心・意欲のある児童生徒の割合	80.0%	78.5%
地域や社会への興味・関心のある児童生徒の割合	70.0%	59.6%
学校卒業後磐田市に就職を希望する高校生の割合	50.0%	37.2% (H28)

【平成 28 年度の主な取り組み】

- ◇豊田中学校区（ながふじ学府）の学府一体校の整備に向けて、地域、保護者等との新たな学校づくり検討会での協議、研究をもとに基本構想を策定していく。
- ◇ふるさとを愛する心を育成するため、「地域とともにある学校づくり」（コミュニティ・スクール）を市内全小中学校にて本格的に実施する。
- ◇放課後児童クラブの対象学年の拡大に対応するため、クラブ数を拡充する。また、東部小児童クラブでは、市内で初めて寺院を間借りして運営をする。
- ◇親子が楽しみながら気軽に相談できる子育て支援と図書館機能を兼ね備えた（仮称）子ども図書館の設置に向けた基本構想を策定する。【再掲】
- ◇中学生のスポーツ活動の機会充実を図るため、学校部活動の枠を越えた「磐田スポーツ部活」を設立する。（H28.5～）【再掲】
- ◇次代を担う子どもたちに、ふるさといわたへの誇りと愛情をもってもらうため、高校生を対象に、「いわたファンクラブ」会員が、経験と知識に基づいた授業を行う「大人の階段」事業を継続して実施する。

基本目標5：安全・安心と住みよさを実感できるまちづくり（地域づくり）

【平成27年度の主な取り組み】

- 消防団詰所4棟、車庫1棟の整備
- 消防団家族の表彰制度の創設
- 竜洋海洋公園海岸堤防及び福田地区海岸堤防の整備
- 自治会防犯灯のLED化の実施（10,938灯）
- 生活支援コーディネーターの配置（2人）による高齢者の生活支援、介護予防サービスの提供体制の構築に向けた取り組みの実施
- 認知症ケアパスの作成、認知症地域支援推進員の配置
- 交流センターを拠点とした「まちの保健室事業」の開催（110回開催、参加者1,885人）
- 地域で行われる介護予防活動の推進及び支援のために活動する団体への支援の実施（177団体）
- デマンド型乗合タクシーの市内全域導入、民間バス事業者支援（市内全域のバス路線へ拡大、施設整備補助金の新設）
- 公民館やコミュニティセンター等を「交流センター」に再構築
- 子育て支援、健診機能、会議、研修機能などを有する豊岡中央交流センターの整備

【数値目標】

項目	目標値（H31）	実績値（H27）
「磐田市が住みやすい」と答える市民の割合 ※「磐田市に住み続けたい」と答える市民の割合	80.0%	87.9%

【重要業績評価指標（KPI）】

項目	目標値（H31）	実績値（H27）
緊急輸送路上の橋梁の耐震化率（橋長15m以上）	94.1%	82.4%
犯罪発生件数	800件	1,014件
お達者な人（65歳以上の要介護認定なし＋要介護1以下）の割合	92.0%	92.28%
自治会加入率（世帯）の維持	83.16%	83.16%
交流センター利用者数	650,000人	633,352人

【平成 28 年度の主な取り組み】

- ◇災害時の防災拠点間の輸送に欠かせない緊急輸送路を確保するため、その沿道にある民間建築物の補強計画を行う所有者に対する補助金を創設（H28.4～）し、支援を図る。
- ◇第4次被害想定レベル2に対応する海岸堤防の整備を引き続き実施する。
- ◇道路交通の安全確保を進めるため、行政設置の照明灯・防犯灯のLED化、公園内に設置された照明灯のLED化を実施する。
- ◇認知症地域支援推進員を配置し、市民の認知症への理解を高め、認知症の方やその家族の支援体制を強化する。
- ◇高齢者が住み慣れた地域や自宅で過ごせるよう24時間対応の民間訪問介護・看護事業所を開設する事業者への支援を図る。
- ◇地域包括ケアシステム構築のため、医療・介護などの専門職と地域住民による地域ケア会議を開催し、高齢者への個別ケースを支援する。
- ◇障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、社会福祉法人等が設置する障害者福祉施設の整備支援を行う。
- ◇異世代交流による地域の活性化や健康を切り口にした地域づくりを目指し、保健師が毎月1回交流センターへ出向き、健康講座等や健康相談を行う「まちの保健室事業」を引き続き実施する。
- ◇平成29年のオープンに向け、市内23番目となる（仮称）豊浜交流センターの建設工事を実施する。（緊急避難用屋上600人超避難可能）
- ◇地域交流、世代間交流、健康保持増進、生活リズム向上、介護予防等の推進のため、「ラジオ体操」を交流センター単位で実施する。

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)			⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価	実績値を踏まえた事業の今後の理由	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値			事業の評価
1	磐田市総合戦略策定事業	基礎交付	8,148,166	指標①	-	-	H28.3	-	「人口ビジョン」及び「総合戦略」を、総合計画審議会の意見を踏まえて策定でき、上乗せ交付金の対象となる平成27年10月末までに公表することができ、良かった。	予定期間内事業を終了	
				指標②	-	-	-	-			-
				指標③	-	-	-	-			-
				指標④	-	-	-	-			-
				指標⑤	-	-	-	-			-
2	UJ/Tターン促進支援事業	基礎交付	26,168,079	指標①	20	人	H28.3	27	首都圏の学生に対する市内企業の見学会やセミナーの実施は、KPIの実績値からみても、UJ/Tターン就職の促進に有効であったと思う。	事業の継続	
				指標②	-	-	-	-			-
				指標③	-	-	-	-			-
				指標④	-	-	-	-			-
				指標⑤	-	-	-	-			-
3	創業支援・販路開拓支援事業	基礎交付	11,126,000	指標①	5	件	H28.3	118	市内の定住者を増やすには、働く場所が必要であり、調査業務は今後の企業誘致の推進に有効であると考え、また、展示会等出展支援補助金に交付金を活用したことは、商談中の件数のKPIの実績値からみても、有効であったと思う。	事業の継続	
				指標②	-	-	-	-			-
				指標③	-	-	-	-			-
				指標④	-	-	-	-			-
				指標⑤	-	-	-	-			-
4	子育て環境改善事業	基礎交付	29,032,648	指標①	97	%	H28.3	97.6	交付金を幼稚園・保育園の保育環境の整備に活用したことは、楽しんで育児できる環境の創出に有効であると思う。	事業の継続	
				指標②	-	-	-	-			-
				指標③	-	-	-	-			-
				指標④	-	-	-	-			-
				指標⑤	-	-	-	-			-
5	先端計測AIシステムを活用した「営農」における「創客創人」事業	タイプI	5,449,600	指標①	-	-	H28.3	-	磐田市の先進的な取り組みである次世代型農水産業を支援することによって、働く場所の確保につながることを期待できる。	追加等に努めさせる	
				指標②	2	回	H28.3	5			また、輸送用機械器具製造業を中心とした磐田市の産業に、新たに農業を核とした産業の創出につながることを期待できる。
				指標③	-	-	-	-			
				指標④	-	-	-	-			
				指標⑤	-	-	-	-			
6	子育て環境改善事業	タイプII	1,000,000	指標①	97	%	H28.3	97.6	交付金を幼稚園・保育園の保育環境の整備に活用したことは、楽しんで育児できる環境の創出に有効であったと思う。	事業の継続	
				指標②	-	-	-	-			-
				指標③	-	-	-	-			-
				指標④	-	-	-	-			-
				指標⑤	-	-	-	-			-
7	保育士・幼稚園教諭等人材発掘事業タイプII	タイプII	1,000,000	指標①	0	人	H28.3	0	幼稚園・保育園の保育環境の向上を図るには、保育士等の人材確保も重要な取組みであり、本事業は、引き続き待機児童数ゼロを達成するために有効であると思う。また、保育士・幼稚園教諭の人数に関するKPIの設定でも良かったと思う。	事業の継続	
				指標②	-	-	-	-			-
				指標③	-	-	-	-			-
				指標④	-	-	-	-			-
				指標⑤	-	-	-	-			-
8	産官学連携婚活サポート事業	タイプII	1,000,000	指標①	10	件	H28.3	10	合計特殊出生率の向上を図る上で、減少傾向にある婚姻数を増やすための本事業は、有効かつ今後に期待できるものであると考え	事業の継続	
				指標②	-	-	-	-			-
				指標③	-	-	-	-			-
				指標④	-	-	-	-			-
				指標⑤	-	-	-	-			-